

ニ關係アル諸臟器ノ障礙ニ因ルコト男性ニ於ケルガ如ク、而シテ女性ニ於テハ、特ニ、受胎能力ノ微標ト認ムベキ月經ノアル有リ (Menses oder Menstruation) 月經初潮ノ時期ハ、人種 (Race) ニヨリ、又居住地ノ氣候ニヨリテ、多少ノ差違アリト雖、平均十五歳乃至十七歳ニ於テスルモノ、如シ(但シ、稀ニ甚早期ニシテ、早期月經 (Menstratio Praecox) ト稱セラル、モノアリ) ソレヨリ月經ハ、約三十年間持續シテ月經閉止期 (Klimacterium) ニ至リテ止ム、而シテ一般ニハ、月經初潮以前及ビ其閉止以後ハ、受胎不能ト看做シテ、誤謬無キモ、常ニ、必然ルニハアラズ、尙、月經ト鑑別スベキモノニ、種々ナル病的ノ出血アリ。

(丙) 孕胎不能 (Impotentia gestandi)

最後ニ、女性ニハ、ミ關係アル獨特ナル能力アリ、即チ孕胎能力是レナリ。精蟲ト卵ト合一シテ、受胎ヲ遂ゲ得ルモ、之ヲ一定期間、子宮内ニ滞留シテ、其成育ヲ全フセシメ得ザレバ、常ニ流産シテ、胎兒分娩後ハ、成長至難ニ屬ス、例之、微毒患者ガ屢、妊娠七八ヶ月ニシテ、娩出スルガ如シ、此ノ如キヲ孕胎不能 (Impotentia gestandi) ト稱ス、而シテ其理由ハ、今日、未ダ詳ナラズ。

第三項 不法交接 (Gesetzwidrige Beischlaf)

參照 刑法 第二十二章 褻褻姦淫及ヒ重婚ノ罪
 第一百七十六條 十三歳以上ノ男女ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ以テ褻褻ノ行為ヲ爲シタル者ハ六月以上七年以下ノ懲役ニ處ス十三歳ニ滿タサル男女ニ對シ褻褻ノ行為ヲ爲シタル者亦同シ
 第一百七十七條 暴行又ハ脅迫ヲ以テ十三歳以上ノ婦女ヲ姦淫シタル者ハ強姦ノ罪ト爲シ二年以上ノ有期懲役ニ處ス十三歳ニ滿タサル婦女ヲ姦淫シタル者亦同シ
 第一百七十八條 人ノ心神喪失若クハ抗拒不能ニ乘シ又ハ之ヲシテ心神ヲ喪失セシメ若クハ抗拒不能ナラシメテ褻褻ノ行為ヲ爲シ又ハ姦淫シタル者ハ前二條ノ例ニ同シ
 第一百七十九條 前三條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス
 第一百八十條 前四條ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ス
 第一百八十一條 第一百七十六條乃至第一百七十九條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ無期又ハ三年以上ノ懲役ニ處ス

(甲) 強姦 (Notzucht)

法規ニ違反スル交接中、刑法上強姦ト稱スルモノハ、男子ガ女子ノ同意ヲ得ズ、或ハ女子ノ意識漏濁シ、或ハ抵抗スルコト能ハザルヲ利用シテ、(第一百七十八不法交接

幼者ニ對スル
姦淫

強姦ノ必要條
件

條)交接ヲ遂行スルヲ云フ而シテ強姦ノ罪ハ申告罪(第八十條)ナリト雖事、女子ノ尊嚴ニ關スルガ故ニ、量刑ハ輕カラズ。但シ女子ガ自己ノ利益ヲ計ランガ爲、或ハ他人ノ尊嚴ヲ傷ケン等ノ忌ムベキ原因ニヨリテ、詐リテ強姦ノ告訴ヲナス場合モ亦尠カラザルコトヲ記憶スベシ。而シテ十三歲未満ノ女子ニ對スル姦淫ハ、たとヒ其同意ヲ經トモ、之ヲ強姦ノ罪ヲ以テ律スルコト(第七十七條)ニ規定スルガ如シ。蓋シ、幼者ハ前章ニ云ヘルガ如ク心神喪失者ニ準スベキモノナレバナリ。

強姦ノ條件トシテハ、生理學的ニハ陰莖挿入(Inmissio penis)及ビ射精(Ejakulatio seminis)ノ二者ヲ必要トスルモ、刑法上ニハ然ラズ。主トシテ(1)交接行爲ノ有無、(2)其手段及ビ(3)結果ノ如何ヲ酌量シテ、之ヲ定ム。

(1)交接行爲トハ必シモ陰莖挿入ヲ必要トセズ、之ニ對スル企圖、或ハ豫備ニシテ足ル(第七十九條)。

(2)手段トハ、例之、魔睡劑ヲ使用セシヤ否ヤ、幼女ヲ誘フ爲ニ其嗜好品ヲ用ヒタリヤ否ヤ等ヲ云ヒ、(3)結果トハ、外陰部ニ損傷ヲ生ゼシヤ否ヤ、或ハ爲ニ死ニ至ラシメシヤ否ヤ(第八十一條)等ヲ云フ。以下之ヲ詳記スベシ。

欠

欠

破瓜

強姦被害者

第 四 十 八 圖

不法交接



破瓜の形

膜ハ、陰莖ノ進入ニ依リテ、後天的ニ破裂(第四十七圖)シテ、種々ナル形狀ヲ呈スルニ至ル(第四十八圖)其破裂ヲ破瓜(Deformation)ト稱シ、之ヲ以テ處女タル事實ヲ否定スル確證トナス。然リト雖亦破瓜以前ニ、處女膜ヲ破裂セシムル場合尠カラズ。特ニ本邦ニ於テハ、月經時ニ慣用スル栓塞子(Tampon)ニ因リテ之ヲ生ズト云フ。但シ通常ノ場合、手淫(Oncanie)ニ因リテ生ズベシトハ思量セラレズ。オニパニ

(一) 法醫學的ニ交接ノ有無ヲ定ムル場合ニハ、淫行完了(Stuprum consumatum)ヲ必要トセズ、單ニ淫行企圖(Stuprum attentum)ノミヲ以テ充分ナリトスルガ故ニ、上記、破瓜ノ存在ハ、強姦ノ一證左トナスニ足ル。而シテ強姦ハ、統計ハ示ス所ニヨレバ、成年女子ニ少クシテ、反テ生

會陰破裂

外陰部腫脹

精液検査

精蟲検査ニ關スル注意

殖器ハ發育未ダ不充分ナル幼者ニ多キガ故ニ單ニ處女膜ヲ破碎スルノミニ
 ハズシテ同時ニ會陰破裂(Dammris)等ヲ起シ甚シ
 更ニ一層幼キモノ、被害者タル場合ニハ、全ク陰
 部ヲ摩擦スルニ過ギザルガ故ニ破瓜スルコト無
 ニ發赤(Schwellung und Rötung)ニ止リ若干日疼痛ア
 稀少ナラズ。
 ニアリテハ、尙射精セル確證タルベキ精液ノ斑痕
 檢出シ得ベシ。精液斑痕ハ、地圖狀形、灰白色ニシテ
 操作、例之、コリン、ストツキス(Corin-Stockis)兩氏ノ檢
 (Samenfäden)ヲ有スル精蟲(Sperma)ヲ認ムベシ。但シ、
 モノ、例之、織毛ヲ有スル細菌又ハ或ル種ノ植物ノ
 ハ、洗滌セラレ、或ハ時日ヲ多ク經過セル斑痕ニアリ
 或ハ全ク洗ヒ落サレ、或ハ細菌等ノ爲ニ、頭部ヲ失
 トアルヲ窄記スベシ。是レ精蟲ノ頭部ハ精絲ヨリ
 ヒテ、精
 毛剝離シ易ク又細菌ノ榮養分トシテ攝取セラルレバナリ。

(ろ) 手段(Mittel)

強姦ノ手段

精神健全ナル女子ヲ姦淫センガ爲ニハ、通常種々ナル手段ヲ講ゼザルベカラズ。脅迫、誘惑、魔睡或ハ暴行等ノ如キ即チ是レナリ。

(一) 脅迫(Drohung) 最普通ニ行ハル、方法ハ脅迫、即チ精神的ニ加ヘラル、暴力(Psychische Gewalt)ニシテ(第一百七十六及百七十七條)其多キハ、被害者ニ幼年ノモノ多キニ因ル。

(二) 暴行(Gewalt) 成年女子ニアリテハ、相當ノ抵抗ヲナスガ故ニ、暴行ノ用ヒラルベキハ説明ヲ俟タズ。

(三) 誘惑(Lockspiegel) 幼者ニハ、其嗜好物附與、成年ニハ、催淫劑(Aphrodisiaca)使用等アリ。

(四) 心神喪失(Bewusstlosigkeit) 高度ノ酩酊(Trunkenheit) 魔睡劑ノ使用、催眠術(Hypnose)ノ惡用等皆之レニ屬ス。

(五) 抗拒不能(Unmöglichkeit Widerstand zu leisten) 手ヲ縛スル等
 以上ノ如キ手段無クシテ、被害者ニ抵抗ノ意志確存スル限り、強姦ノ遂行ハ
 不法交接

不能ナルヲ通常トス。

(は) 結果 (Wichtige Nachteile infolge
Gesetzwidrigen Beischlafs)

強姦ノ結果

強姦ノ結果トシテ、幼者ニアリテハ、其年齢、即チ、生殖器ノ發育程度ニ應ジテ、或ハ外陰部ノ腫脹、發赤、疼痛アリ、或ハ會陰破裂アルコト、竝ニ成長シタルモノニ於テハ破瓜アリテ微細ナル出血ヲ伴フコト既ニ云ヘリ。加之、或ハ花柳病ニ傳染シ、或ハ妊娠スルコトアリテ、花柳病ニ傳染シタルコトガ、其病源體檢出ニヨリテ證明セラルベキハ勿論ナリ。

以上ハ精神健全者ニヨリテナサル、場合ノ結果ナルガ、精神異常者ニヨリテ遂行セラル、場合ニハ、其結果一層慘酷ナルモノアリ。即チ或ハ幼者ノ腔ヲ指、又ハ兇器ヲ以テ擴大スルモノアリ、或ハ被害者ヲシテ死ニ至ラシムルモノアリ。淫樂的兇殺 (Lustmord) ノ如キ即チ是ナリ。但強姦致死ハ必シモ精神異常者ノミニ限ラズ、健全者ト雖、被害者ノ抵抗ヲ除カント欲スルノ餘リ、窒息或ハ腦震盪等ニ陥ラシムルモノアリ、又下肢ニ甚シキ骨折ヲ生ゼシメタル例モアリ。

淫樂的兇殺

傷害致死

附記ス、強姦ノ罪ハ申告罪ナルガ故ニ、單ニ姦淫ノミノ存在スル場合ニハ、被害者ノ告訴ヲ必要トスルモ、既ニ之ニ傷害或ハ死亡ノ事實ノ共存スルトキハ、直ニ檢事ノ起訴トナル而シテ種々ナル花柳病ハ傳染モ、亦、法律上ニハ傷害ノ數ニ入ルコトヲ。

(乙) 其他ノ不法交接 (Gesetzwidrige Beischlaf
anderer Art)

近親相姦

其他ノ不法交接ニ近親相姦 (Incest oder Blutschande) アリ、本邦ニ於テハ其婚姻ヲ禁ズルノミナルモ、泰西ニ於テハ之ニ加刑スルモノアリ、例之、ドイツ刑法第百七十四條ノ如シ。

重婚

重婚 (Doppelhe) ニ關シテハ贅言セズ。

第四項 反自然的淫行及ヒ猥褻行爲
(Widernatürliche Unzucht und Unsittlichkeit)

關係法規

參照 刑法 第二十二章 猥褻、姦淫及ヒ重婚ノ罪
反自然的淫行及ヒ猥褻行爲

反自然的淫行

第七十四條

公然猥褻ノ行爲ヲ爲シタル者ハ科料ニ處ス

第七十五條

猥褻ノ文書圖畫其他ノ物ヲ頒布若クハ販賣シ又ハ公然之ヲ陳列シタル者ハ五百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス販賣ノ目的ヲ以テ之ヲ所持シタル者亦同シ

反自然的淫行、即チ例之、鶏姦、獸姦等ニ關シテハ、ドイツ及ビオーストリアノ

如キハ、夫々特殊ノ刑ヲ定ムト雖、本邦ニ於テハ此ノコト、無ク、唯一様ニ之ヲ猥褻行爲ヲ以テ論ズ、第七十四條及ビ前出百七十六條、而テ種々ナル反自然的淫行ニ關シテ、一々説明スルノ煩ヲ避ケ、茲ニハ、唯ソレ等ノ名稱ヲ列記スルニ止メ、參考トシテ、前記諸國ノ刑法ノ條項ノ一、例ヲ括弧内ニ附記ス。即チ、

性慾的作虐 (Sadismus) (獨刑、二二三條)

性慾的被虐 (Misophismus) (澳刑、四條)

性慾的索物 (Fetischismus) (獨刑、二四九、及ビ二四二條)

屍好 (Nekrophilie) → 屍姦 (Leichenschändung) (澳刑、三〇六條)

陰部露出症 (Exhibitionismus) (獨刑、一八三條)

小兒嬉好 (Paedophilie) → 鶏姦 (Paederastie) (獨刑、一七五條)

獸姦 (Sotomie) (獨刑、一七五條)

色情倒錯症

猥褻行爲

相互手淫 (Tribadie) 及ビ手淫 (Onanie)

等ニシテ、其ノ多數ハ色情倒錯症 (Sexuelle Perversion) ニ基因スルモノナリ。按ズルニ本邦刑法ニ所謂猥褻トハ淫慾ヲ興奮シ、又ハ之ヲ満足セシムルニ出デタル、交接以外ノ行爲ニシテ、他人ニ著シク背倫ハ觀念ヲ抱カシムルモノノ義ナリ。是レ即チ前掲セル種々ノ反自然的淫行ガ總テ猥褻ヲ以テ論ゼラル所以、第八十三頁所載ノ刑法第七十六條及ビ第七十八條乃至第八十條ヲ參照スベシニシテ、ソレ等ノ中獸姦、鶏姦、或ハ屍姦等ノ如ク痕跡ヲ殘スモハ、勿論、タトヒ、陰部露出症ノ如ク痕跡ヲ殘サハルモノト雖、既ニ云ヘルガ如ク、是等ノ多クハ通常一定ノ精神異常アルモノ、行爲ナルガ故ニ、法醫ハ、屢、其ノ精神狀態ヲ鑑定スベキ命令ヲ受クルコトアリ。然レドモ亦、精神健全者ニシテ、或ハ妊娠、又ハ花柳病ヲ恐ル、ガ爲、或ハ僧侶ノ如キ一定ノ職業ニ従事スルガ爲、或ハ老年、又ハ畸形ニシテ、交接不能ナルモ、性慾ノミハ旺盛ナルガ爲等ノ種々ナル理由アリテ、交接ヲナサズシテ、カクノ如キ異常ノ淫行ヲ遂行スルモノモ亦、尠カラズ、而シテ、其ノ申告罪ナルコト、(第八十條)等スベテ強姦ノ項ニ云ヘルガ如シ。

反自然的淫行ノ特殊ナル原因

反自然的淫行及ビ猥褻行爲

第七章 妊娠及び分娩 (Schwangerschaft und Geburt)

關係法規

參照

民法 第一編 第一章 第一節 私權ノ享有

第一條 私權ノ享有ハ出生ニ始マル

同上 第四編 第二章 戸主及ヒ家族

第一節 總則

第七百三十三條 子ハ父ノ家ニ入ル

父ノ知レサル子ハ母ノ家ニ入ル

父母共ニ知レサル子ハ一家ヲ創立ス

第七百三十四條

父カ子ノ出生前ニ離婚又ハ離縁ニ因リテ其家ヲ去リタルトキハ前條

第一項ノ規定ハ懐胎ノ始ニ遡リテ之ヲ適用ス

前項ノ規定ハ父母カ共ニ其家ヲ去リタル場合ニハ之ヲ適用セス但母カ子ノ出生前ニ

復籍ヲ爲シタルトキハ此限ニ在ラス

同上 第三章 第一節 第一款 婚姻ノ要件

第七百六十七條

女ハ前婚ノ解消又ハ取消ノ日ヨリ六ヶ月ヲ經過シタル後ニ非サレハ再婚ヲ爲スコトヲ得ス

女カ前婚ノ解消又ハ取消ノ前ヨリ懐胎シタル場合ニ於テハ其分娩ノ日ヨリ前項ノ規定ヲ適用セス

同上 第二款 婚姻ノ無効及ヒ取消

第七百八十二條

第七百六十七條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ前婚ノ解消若クハ取消ノ日ヨリ六ヶ月ヲ經過シ又ハ女カ再婚後懐胎シタルトキハ其取消ヲ請求スルコトヲ得

ス

同上 第四編 第四章 第一節 第一款 嫡出子

第八百二十條

妻カ婚姻中ニ懐胎シタル子ハ夫ノ子ト推定ス

婚姻成立ノ日ヨリ二百日後又ハ婚姻ノ解消若クハ取消ノ日ヨリ三百日内ニ生レタル

子ハ婚姻中ニ懐胎シタルモノト推定ス

第八百二十一條

第七百六十七條第一項ノ規定ニ違反シテ再婚ヲ爲シタル女カ分娩シタル場合ニ於テ前條ノ規定ニ依リ其子ノ父ヲ定ムルコト能ハサルトキハ裁判所之ヲ

定ム

第八百二十二條

第八百二十條ノ場合ニ於テ夫ノ子ノ嫡出ナルコトヲ否認スルコトヲ得

トヲ要ス

第八百二十五條

否認ノ訴ハ夫カ子ノ出生ヲ知リタル時ヨリ一年内ニ之ヲ提起スルコトヲ要ス

トヲ要ス

同上 第二款 庶子及ヒ私生子

第八百三十一條

父ハ胎内ニ在ル子ト雖モ之ヲ認知スルコトヲ得此場合ニ於テハ母ノ承諾ヲ得ルコトヲ要ス

父又ハ母ハ死亡シタル子ト雖モ其直系卑屬アルトキニ限り之ヲ認知スルコトヲ得此

場合ニ於テ其直系卑屬カ成年者ナルトキハ其承諾ヲ得ルコトヲ要ス
同上 第五編 第一章 第二節 家督相續人

第九百六十八條 胎兒ハ家督相續ニ付テハ既ニ生マレタルモノト看做ス
前項ノ規定ハ胎兒カ死體ニテ生マレタルトキハ之ヲ適用セス

刑法施行法

第四十八條 刑事訴訟法第三百十八條ノ次ニ左ノ二條ヲ加フ

第三百十八條ノ二(省略)

第三百十八條ノ三(前略)

死刑ノ言渡ヲ受ケタル婦女懷胎ナルトキハ分娩後司法大臣ノ命令アルニ非サレハ執行ヲ爲スコトヲ得ス

第四十九條

刑事訴訟法第三百十九條第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

懲役禁錮又ハ拘留ノ言渡ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其事故ノ止ムマテ刑ノ執行ヲ停止スルコトヲ得

一 心神喪失ノ状態ニ在ルトキ

二 刑ノ執行ニ因リ生命ヲ保ツコト能ハサル虞アルトキ

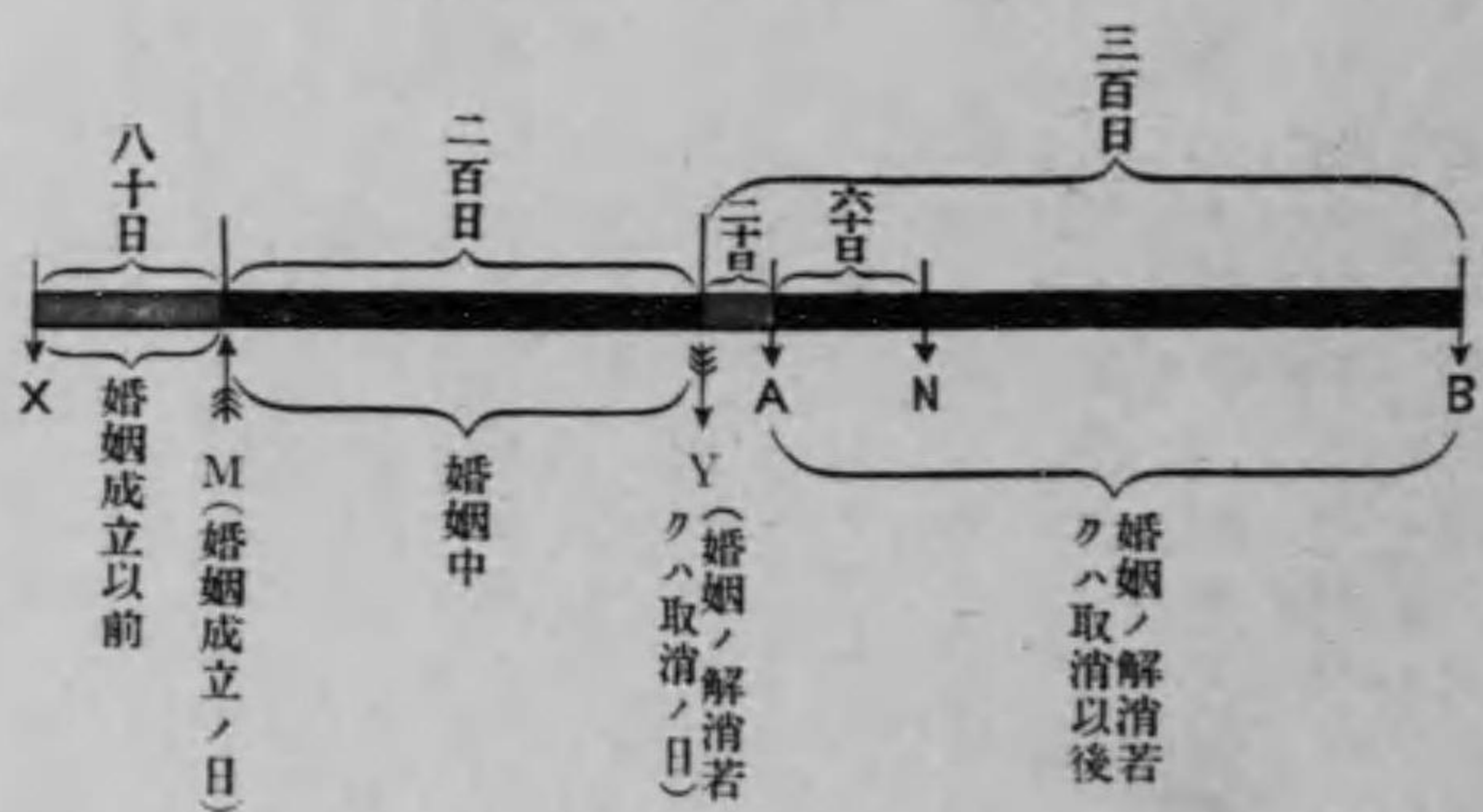
三 受胎後七月以上ナルトキ

四 分娩後一月ヲ經過セサルトキ

上記ノ法規中第七百六十七條ハ再婚シテ後前同ノ夫ノ子ヲ分娩スルコトヲ防止スルモノナリ又第八百二十條ハ夫以外ノモノノ子ヲ區別センガ爲ニ

民法第八百二十條ニ關スル疑義

第九十四圖 民法第八百二十條ニ關スル疑義



赤線ハ部分即チ婚姻成立ノ日以前八十日及ビ婚姻ノ解消若クハ取消ノ日以後二十日ハ兩者ハ民法第八百二十條ニ疑義ヲ挾ミ得ベキ危險區域ナリ

妊娠及び分娩

設ケタルモノナルモ、醫家ノ立場ヨリ之ヲ觀ルトキハ甚危險ナル規定ト云ハザルベカラズ何トナレバ妊娠ノ平均期間ハ二百八十日ナルガ故ニ、第四百十九圖ニ示スガ如ク、婚姻成立ノ日ヨリ八十日以前(X)ニ懷胎シタル子ハ、(Y)ニ生ルベクシテ夫ノ子ト推定セラレ、反之、婚姻成立ノ日(M)ニ懷胎シタル子ハ、當然婚姻ノ解消後八十日(N)ニ生ルベクシテ、夫ノ子タルヲ否認セラル、尙又婚姻ノ解消後二十日(A)ニ懷胎シタル子ハ、婚姻ノ解消後三百日(B)ニ生ルベクシテ、正シク夫ノ子ト推定セララル、故ニ簡言スレバ、第四百十九圖中

第一項 妊娠論 (Schwangerschaft)

(甲) 正常妊娠 (Normale Schwangerschaft)

醫師ノ定ムベキ範圍

妊娠ノ前半期

妊娠ノ徴候

妊娠及び分娩ニ關スル條文多ク、或ハ嫡出子、庶子及ビ私生兒ノ區別、或ハ夫ノ子カ、重婚者ノ子カノ區別、或ハ刑ノ執行猶豫等適用ノ方面ハ種々相分ルト雖、醫師ハ關知スルハ、唯、妊娠ナリ、否、ヤ、從テ、分娩ノ時期ハ何時等アルハ、ミ、而シテ、ソハ、妊娠經過中ノ如何ナル時期ニ於テ、スルカニヨリテ、甚シク難易アル問題ニシテ、妊娠ノ前半期ニ於テハ、恐クハ推定ノ診斷ヲ與ヘ得ベキニ止ルベシ。何トナレバ、法醫トシテ之ヲ決定スベキ場合ニハ、到底通常ノ妊婦ノ如ク容易ニ眞狀ヲ窺知セシメザル關係(隱蔽)加ハリ、加之、或ハ刑ノ執行ヲ延期セン等ノ目的ヲ以テ、妊娠ヲ假裝スルモノモ有リ得ベク、レバナリ。故ニ此ノ際、確實ナル證左ヲ得ント欲セバ、靜ニ其經過ヲ觀察スルコト、最必要ナリ。

妊娠ノ徴候ニ關シテハ、産科學ノ教科書ニ精シキガ故ニ、茲ニ詳説セザルベシ。唯、普通ノ場合、妊娠ノ立證ト看做サル、月經中止、或ハ惡疽 (Hyperemesis Gravi-

欠

欠

父ニ關スル疑義

事、上ニハ、再三、墮胎ト殺人トハ、分岐點ヲナシ、民事上ニハ、嫡出子從テ相續等ニ關スル疑義、即チ所謂父ニ關スル疑義 (Paternalitätsfrage) ヲ惹起ス。尙之ニ關シテハ前章殺兒論ヲモ反復スベシ (第二百二十四頁)

父ニ關スル疑義ハ、最、屢、生ズルハ、晩期分娩兒ニ關シテナリ。是レ蓋シ妊娠ノ出發點ハ、理論上ニハ精蟲ト卵トノ合一セシ時ナリトスト雖、實際上ニハ此ノ時期ヲ確認スルコト能ハズ從テ妊娠期間ハ之ヲ其ノ地方ニ於ケル最近ノ多數ナル統計ニヨリテ決定スルニ過ギザルガ故ニシテ、晩期分娩兒タルコトハ立證ハ、勢ヒ之ヲ其成育程度ガ普通ハ成熟兒以上ナルコトヲ以テ満足セザルベカラズ、但シ成育ノ程度ハ、身長、體重、頭圍等ハ勿論、毛髮、爪甲等ヲモ考慮ニ加ヘテ、一般ヲ通ジテ、平常以上ニ成育セルヲ以テ其標準トナスベク、唯ニ齒牙、毛髮等ノ如キ局所的ノ異常發育ヲ以テ其論據トナスベカラズ、何トナレバ、此ノ如キ事實ハ、屢、過度ノ成熟ニアラザル異常兒ニ於テ認め得ベケレバナリ。

(乙) 異常妊娠 (Abnorme Schwangerschaft)

以上ノ如キ正常妊娠ノ他、尙種々ナル異常妊娠アリ、以下之ヲ略説スベシ。

妊娠論

妊娠ノ畸形

鬼胎ニハ葡萄狀鬼胎 (Traubennole) 胞狀鬼胎 (Blasenmole) 肉性鬼胎 (Fleischmole) 血塊 (Blutmole) 等アリテ、是等ハ何レモ、妊娠ノ一種ナルガ故ニ、之ニ依リテ、妊娠ノ原因ヲナスベキ、交接ノ既存セシ、確證トナスニ足ル。

(い) 鬼胎 (Molenschwangerschaft)

(ろ) 子宮外妊娠 (Extrauterinschwangerschaft)

子宮外妊娠トハ、子宮以外ノ母体内ニ胎兒ヲ收容セルモノ、總稱ニシテ、輸卵管 (Tuba uterina) 内ニ在ルモノハ最多ク、特ニ喇叭管妊娠 (Tubenschwangerschaft) ト稱セラル。其他卵巢中ニ在ルモアレド稀ナリ。是等ハ胎兒ノ未ダ小ナル時期ニ於テハ異常無キモ、漸次發育スルニ及ンデハ、子宮ニ比シテ甚シク外皮薄弱ナル臓器内ニ在ルガ故ニ、些細ナル打撲、又ハ中毒等ニ因リテ、容易ニ外皮破裂シテ、腹腔内ニ甚シキ出血ヲ起シテ急死スルコトアリ。

(は) 雙胎 (Nachempfangniss)

喇叭管妊娠

雙胎トハ、一兒ノ受胎セル後、更ニ他兒ノ受胎スル現象ヲ云ヒ、之ニ兩種アリ。即チ(A)一ハ同妊期性雙胎 (Uberschwängerung) ニシテ、(B)他ハ異妊期性雙胎 (Uberschwängerung) ナリ。

(A)前者ハ同一ノ熟卵期 (Ovulationsperiode) ニ於ケル一以上ノ卵ガ別種ハ精蟲ニヨリテ受胎スルヲ云ヒ、カクノ如キ現象ハ動物ニ於テ屢認メ得ラル、ノミナラズ。人類ニアリテモ亦、嘗テアフリカ在住ノ白人ノ婦女、白人及ビ黒人ト婚シテ雙胎セルガ一兒ハ白ク、他兒ハ黒カリシ例アリ。但シ一兒ノ白キハ母ニ似タルモノナリトスル異説モアリ。

(B)後者、即チ熟卵期ヲ異ニセル卵ニヨル雙胎ハ、或ハ有リト云ヒ、或ハ無シト稱シテ、諸説一致セズ。即チ其有リトナスモノハ曰ク、二兒ヲ生ミタルニ、一兒ハ成熟シ居タルニ拘ラズ、他兒ハ約二ヶ月早期ナル例有リシト、又曰ク、通常ノ子宮ニハ之レ無キモ、重複子宮 (Uterus duplex) ニ於テハ之レ有リト、然レドモ無シトスルモノハ曰ク、一兒ノ既ニ受胎セル後、第二兒ノ更ニ受胎スベキ筈無シト、又曰ク、重複子宮ニアリテモ、一方ガ受胎シテ膨大スルトキハ、他方ハ壓迫セラレテ妊娠シ得ベカラズト。

同妊期性雙胎

異妊期性雙胎

第二項 分娩論 (Geburt)

分娩存在ノ微候

分娩後同モ無キ場合

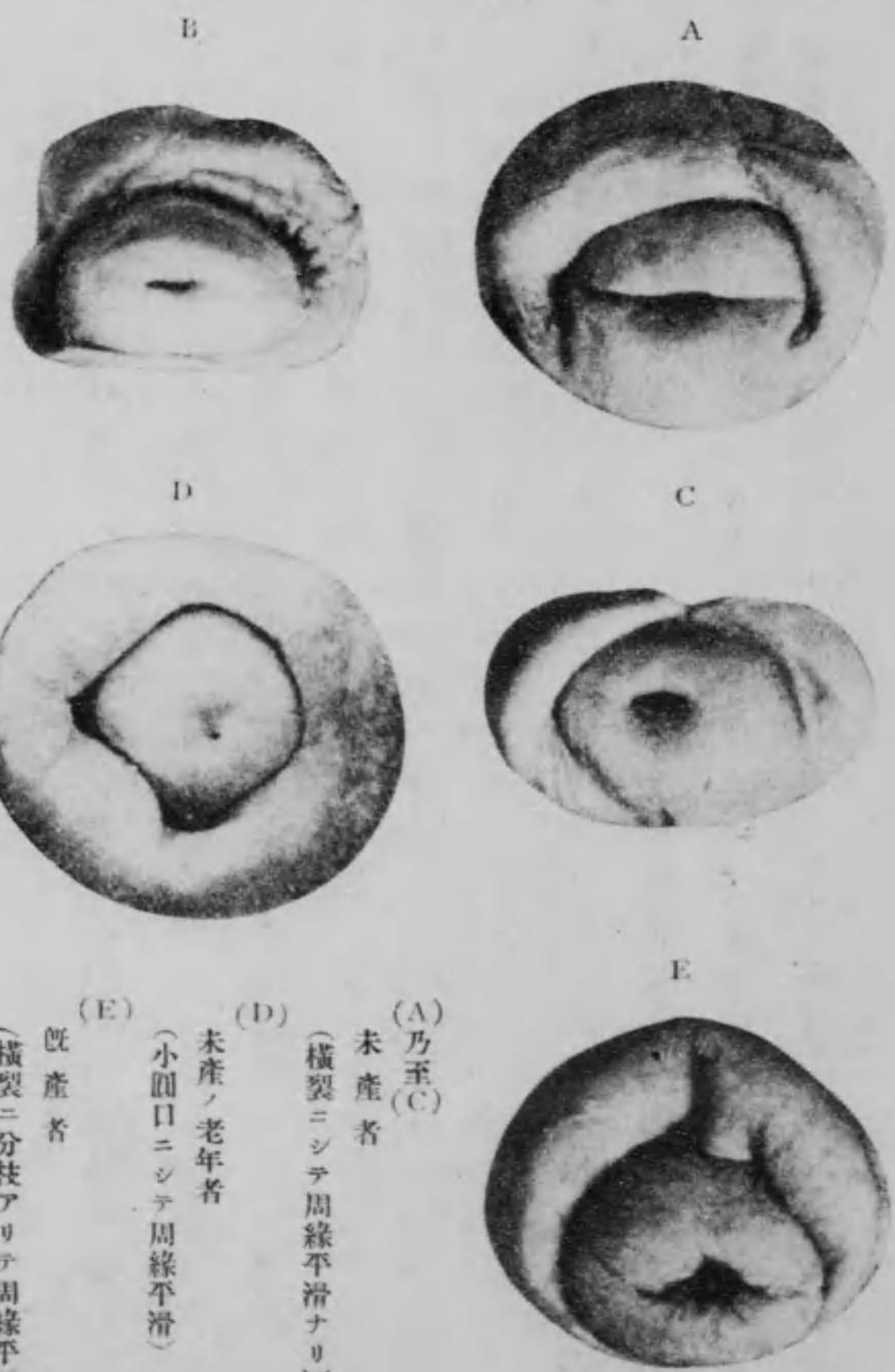
正規分娩其物ハ、法醫學的交渉ヲ有セザルモ、殺兒等ト關聯シテ屢之ニ關スル諸問題ヲ生ズ。故ニ茲ニハ正規分娩其物ニ就キテハ一モ言ハズ、唯分娩ハ存在セシ微候特ニ分娩後ニ於ケル時間經過ノ状態ニ就キテ述ブルニ止ム。

分娩ノ存在セシ確證ハ、胎兒未熟ノ場合特ニ妊娠第一、二ヶ月ニ於テ、甚得難ク、其ノ確實ナル痕跡モ、普通ノ月經血ト識別シ得ベカラズ。是レ此ノ如キ検査ノ必要ナル際ニハ、十中ノ八九胎兒ハ遺棄セラレテ其形影ヲ止メザレハナリ。然レドモ胎兒既ニ成熟セル場合ニハ、タトヒ胎兒ヲ隱匿スルモ、胎便ヲ附著セル一布片尙能ク分娩ノ存在セシヲ立證スルガ故ニ、其證跡ヲ確ムルニ難カラズ。而シテ、其證明ノ難易ハ、管ニ胎兒ハ熟否ハ、ミナラズ、又分娩後經過セル時日ハ、長短ニ關シ、新シキハ認メ易ク、古キモハ難シ。

分娩後、未ダ二、三時間ヲ出デザル場合ニハ、婦女ハ倦怠シ、貧血シ居テ、皮膚蒼白ニシテ四肢ニ靜脈擴大 (Venectasia) アリ、腹皮ハ妊娠癢痕 (Schwangerschaftsbarbe) ヲ有シテ弛緩シ、乳房ハ充盈シテ、色素ニ富メル乳頭ヨリハ、壓ニヨリテ初乳

(Colostrum) ヲ漏ス。且體溫上昇アリ。加之、外陰部ヨリハ所謂惡露 (Lochium) ヲ漏出シ、腔口廣潤、腔粘膜平滑、腔襞積 (Ruga vaginalis) ヲ見ズ。大陰唇腫脹ス。子宮、外口 (Mut-

第五、十、一、子、宮、外、口、之、形、狀



(A) 乃至 (C) 未産者 (横裂ニシテ周縁平滑ナリ)
 (D) 未産ノ老年者 (小圓口ニシテ周縁平滑)
 (E) 既産者 (横裂ニ分枝アリテ周縁平滑ナラズ)

分娩論

termind)ニハ新シキ裂創アリテ容易ニ一指ヲ通ジ得ベシ而シテ稀ニハ會陰或ハ陰挺(Clitoris)附近ニ破裂ヲ生ズ。

然レドモ上記ノ諸徴候中ニハ或ハ速ニ恢復スルモハアリ又或ハ永久ニ殘存スルモハアリ例之惡露ハ數日間ハ血液様ナルモ約二週ニシテ肉汁様トナリ約三週ニシテ止ム脱落膜細胞(Deciduazellen)ノ如キモ其初期ニ於テ混在スルヲ見ルノミ且惡露ハ哺乳スルトキハ速ニ閉止シ然ラザルトキハ比較的長ク持續ス反之永ク存續スルモノハ子宮外口ノ創痕ナリ即チ外口ハ約一週乃至旬日ニシテ縮小スルモ癒痕治癒セル裂口ハ一生涯存在シテ經産婦タルハ一證左トナル即チ第五十一圖ニ就キテ長短ノ差種々ナル横裂若年者或ハ小圓口(老年者)ニシテ何レモ周縁ノ平滑ナル未產者ト癒痕性ノ截痕アリテ横裂分枝ヲ呈シ周縁平滑ナラザル既產者トヲ比較スレバ蓋シ思ヒ半バニ過グルモノアラン又經産婦ニハ處女膜痕ヲ生ズルコトハ既ニ前項ニ述ベタルガ如シ(第五十圖)。

子宮外口

處女膜痕

總括

然レドモ一般ニ之ヲ云ヘバ分娩後幾何日ヲ經過セシヤハ質問ハ甚答ヘ易カラズ單ニ分娩セシコトアリヤ否ヤハ質問ハ早期ハ流産ニアラザル限り多

クハ之ヲ明答シ得ベシ特ニ屍體ニ就キテハ剖檢ニヨリテ比較的多少ハ資料ヲ得ラルガ故ニ一層確實ニ答フルコトヲ得

第三項 犯法的墮胎 (Kriminale Abortus)

關係法規

參照 刑法 第二十九章 墮胎ノ罪

第二百十二條 懷胎ノ婦女藥物ヲ用ヒ又ハ其他ノ方法ヲ以テ墮胎シタルトキハ一年以下ノ懲役ニ處ス

第二百十三條 婦女ノ囑託ヲ受ケ又ハ其承諾ヲ得テ墮胎セシメタル者ハ二年以下ノ懲役ニ處ス因テ婦女ヲ死傷ニ致シタル者ハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス

第二百十四條 醫師產婆藥劑師又ハ藥種商婦女ノ囑託ヲ受ケ又ハ其承諾ヲ得テ墮胎セシメタルトキハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス因テ婦女ヲ死傷ニ致シタルトキハ六月以上七年以下ノ懲役ニ處ス

第二百十五條 婦女ノ囑託ヲ受ケ又ハ其承諾ヲ得シテ墮胎セシメタル者ハ六月以上七年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス
第二百十六條 前條ノ罪ヲ犯シ因テ婦女ヲ死傷ニ致シタル者ハ傷害ノ罪ニ比較シ重キニ從テ處斷ス

墮胎 (Abortus) トハ未ダ完全ナル成熟ヲ遂ゲザル胎兒ガ偶然ニ或ハ人爲ニ犯法的墮胎

人為的墮胎

犯法的墮胎

墮胎ニ關スル
質問ニ關スル

ヨリテ、母胎外ニ驅出セラル、ヲ云フ而シテ (A) 偶發性ノ墮胎 (Spontane Abortus) ニ關シテハ、孕胎不能ノ婦女ガ此ノ素因ヲ有スルコト、既ニ前章ニ云ヘルガ如シ、(B) 人為的墮胎 (Künstliche Abortus) トハ、(1) 妊婦ノ病苦ヲ救済センガ爲ニ醫治ノ目的ヲ以テ、人為的ニ行ハル、モノ、又ハ (2) 單ニ妊娠ヲ中斷セシメ、之ニ依テ正當分娩ヲ避クル目的ヲ以テ、人為的ニ行ハル、モノヲ云フ而シテ、此ノ人為的墮胎中、後者ニ屬スルモノハ、即チ刑法上ニ所謂墮胎 (Kriminale Abortus) ニシテ、通常單ニ Fruchtbreibung ト稱セラル。此項述べント欲スルモノ、即チ是レニシテ、生物學上ヨリ、之ヲ見レバ等シク、殺人或ハ殺兒ト同一性質ノモノナレドモ、刑法上ニハ兩者ヲ分チ論ズルコト、既ニ殺兒論ノ冒頭ニ盡シタルガ如シ、(以下單ニ墮胎ト記スルモノハ、ハ、スベテ、刑法上ニ所謂墮胎ハ義ナリ、)

墮胎ハ、妊婦一人ニテ、單獨ニ遂行シ得ルコト、甚稀ニシテ、通常妊婦、又ハ其ハ關係者ハ、囑託ヲ受ケ、或ハ之ヲ幫助シ、或ハ教唆シテ、墮胎セシムル者アリ、是レ即チ刑法第二百十三條乃至二百十六條ノ規定アル所以ナリ、而シテ墮胎ニ關シテ法醫ニ屢、提出セラル、問題ハ左ノ如シ。

(甲) 墮胎ノ事實存在セシヤ否ヤ、少クトモ其企圖ト認ムベキモノアリヤ否ヤ、(所見)

(乙) 若シ墮胎ノ事實アリトセバ、其ノ墮胎ハ偶發性ノモノナリヤ、或ハ人為的ニナサレタルモノナリヤ、(原因及び手段)

(丙) 妊婦ニ對スル、墮胎ノ影響如何、(結果)

(甲) 墮胎ニ關スル所見 (Befund über dem

Abortus)

墮胎ノ行ハレシ確證ハ、未熟ナル胎兒ハ存在ヲ以テ第一トスルモ、胎兒ハ普通隱匿又ハ遺棄セラレテ得ベカラズ、其所在ヲ發見スルニ及ンデハ、屍體既ニ腐敗シテ、殘存セル遺骨ニヨリテ、其發育程度ヲ推定スルヲ以テ満足スベキニ至ルモノ多ク、或ハ胎盤ノミヲ殘存シ、或ハ衣類調度等ニ存スル汚物斑ノ胎便ナルヲ立證シテ止ムベキ場合モアリ、故ニ比較的屢、存在スル材料ハ、妊婦ハ身體的所見ナルモ、之レトテモ、亦缺如スル場合尠カラズ、或ハ又墮胎受囑者等ノ口供其他ヲ資料トス。

統計ノ示ス所ニ依レバ、墮胎ハ最多ク行ハル、ハ、妊娠第四乃至六ヶ月ハ期

犯法的墮胎

墮胎證明資料

墮胎ノ統計的
所見

間ナリ、蓋シ、初期未ダ妊娠ト確定セザル期間ハ之ヲナサズ、又胎兒ノ成育顯著ナル末期ニ至リテ、之ヲ行ヘバ、容易ニ其犯行ノ曝露スベキヲ恐ル、ガ故ナルベシ、從テ墮胎検査ノ多ク行ハル、胎兒モ亦上記ノ期間ニ屬スルモノニシテ、之ニ就テハ胎兒ニ墮胎ヲ偶發スルニ足ルベキ一定ノ疾患又ハ異常アリヤ、或ハ墮胎ノ原因ト認ムベキ人爲的ノ損傷アリヤ等ヲ検査スルコト肝要ナリ、而シテ統計ハ又墮胎者ハ、大多數ハ、未婚者ナルコトヲ示ス、

母體ニ就キテ検査スベキハ、ソガ墮胎セシヤ否ヤ、及ビ若シ墮胎セリトセバ、妊娠第何ヶ月ニ於テセシヤ等ノ問題ニシテ、妊娠ノ末期ニ於テセシモノハ前項正常妊娠ニ於テ述ベシ如キ所見アルガ故ニ、比較的容易ナリト雖、初期特ニ妊娠第二、三ヶ月ニ於テセシモノハ、タトヒ墮胎後數日以内ニ之ヲ檢スルモ、僅ニ處女膜破瓜、竝ニ血様ノ液ガ腔口ヨリ漏出スルヲ見ルノミニシテ、甚、其ノ確證ヲ得ルニ苦シム、但シ墮胎ニヨリテ死ニ至レルモノニ就キテハ、以上ノ他、尙剖檢ニヨリテ内景所見ヲ資料ニ供シ得ベキガ故ニ便宜多シ、而シテ内景所見中重要ナルモノハ、勿論、子宮粘膜炎、卵巢ノ變化、特ニ其ノ黃體(Corpus luteum)等ノ性狀如何ニアリ、

(乙) 墮胎ノ原因及ビ方法(Ursache und Mittel)

墮胎ノ原因トハ、墮胎ガ偶發セシカ、或ハ人爲的ニナサレシカノ問題ニシテ、偶發セルモノハ、法醫トシテハ、之ヲ人爲的ハ、モノト鑑別スル上ニ、甚、必要ナリ、

偶發性ノ墮胎ニハ、經驗ニヨレバ、(一)卵ガ受精セル後間モ無ク起ルモノ、及ビ(二)妊娠第六乃至八ヶ月ニ屢起ルモノトノ兩種アリ、(一)前者ハ卵ノ固著未ダ弱キ爲ニ生ジ、(二)後者ハ胎兒ノ生活機能漸ク敏活ナラントスル時期ニ於テスト解セラル、モ、其原因ニハ、種々アリ、即チ、或ハ胎兒自己ニアリ、或ハ母ニアリ、又或ハ外來ノ刺戟ニアリ、其胎兒自己ニ起因スルモノハ、畸形或ハ榮養循環等ノ障礙、或ハ微毒等ナルガ故ニ剖檢ニヨリテ容易ニ之ヲ確證シ得ベク、母ニ在ルモノモ亦、子宮疾患、子宮ノ位置異常或ハ腎臟炎ノ如キ局所的變化、乃至、熱性病、或ハ血壓上昇、高度ノ出血等ノ如キ全身症狀ナルガ故ニ、是レ亦母體ヲ診察シテ確證スルヲ得ベシ、又、外來ノ刺戟ニ起因スルモノトハ、例之、全身特ニ、下腹部ノ打撲、及ビ人爲的墮胎ニ際シテ常ニ慣用セラル、種々ナル方法、即チ以下ニ詳述セントスルモノニシテ、其大多數モ亦之ヲ確證スルコトヲ得ベシ、唯一妊

娠ノ初期ニ於テスルモノ、大多數ハ殆ド確證シ得ベカラズ。人為的墮胎ノ目的ヲ以テ慣用セラル、方法(Fruchtabtreibungsmittel)ヲ大別シテ二トス。外的方法及び内的方法即チ是レナルモ、其ノ歸著スル處ハ兩者即チ一ニシテ、子宮筋ハ收縮ニ促スニ在リ。

(い) 内的方法 (Innere Abtreibungsmittel)

内的方法トハ、毒物ヲ内服シテ、胎兒ヲ驅出スルコトヲ云フ。但シ有效ニシテ副作用少キ毒物無ク、妊婦爲ニ屢死ニ至ルモノアリ。

本邦ニ於テ此目的ニ使用セラル、モノハ未ダ詳ナラス。殊ニ其作用ニ於テ然リ麝香、口紅、水蛭或ハ蝮ノ陰干シ、蛇ノ串差シノ如キモノ人口ニ膾炙スルモ、コレ等ノ多クハ所謂家傳ノ妙藥ニシテ用法スラ明ナラズ而シテ近年此ノ用ニ供セラル、幾多ノ通經劑ノ主成分ハ蘆薈(Aloe)ナリト云フ。

泰西ノ民間ニ於テ此ノ目的ニ用ヒラル、モノハ、芫菁、黃磷、麥角、其他水銀、或ハ砒素劑ナルガ、コレ等モ亦輓近漸々本邦ニモ使用セラル、傾向アルモノ、如シ。

(ろ) 外的方法 (Aeusserere Abtreibungsmittel)

外的方法トハ、異物ヲ以テ、子宮ヲ刺戟シテ、胎兒ヲ驅出スルコトニシテ、内的方法ハ效果不確實ナルガ故ニ、本邦ニ於テハ大多數ハ之ヲ採用スルモハ、如シ。即チ此ノ種ノ器械的方法ニ種々アリ、或ハ單ニ下腹部ヲ打撲シ或ハ摩擦スルモノアリ、或ハ外陰部ヨリ異物ヲ挿入スルモノアリ、或ハ又多少助産術等ヲ學ベルモノニアリテハ熱ヲ利用シテ、溫湯ヲ注入スルモアリ。

外陰部ヨリ挿入セラレタル異物ハ、或ハ卵膜ヲ穿通シテ羊水ヲ漏出セシメ、或ハ膜ヲ破碎スルニ至ラズシテ、卵ト子宮粘膜トノ中間ニ介在シ、或ハ單ニ子宮頸(Cervix)内ニ介在シテ、若干時日ノ後其目的ヲ達ス。而シテ此ノ用ニ供セラ

ル、モノハ、本邦ニ於テハ、種々ナル植物ノ葉軸、竹條、或ハ紙捻リノ固メタルモノ等ノ一端ニ絲ヲ附シテ取出スニ便シタルモノニシテ、之ヲ使用スルモノ、多クハ、勿論内陰部ノ解剖ニ暗キ老婆等ナルガ故ニ、屢子宮壁ヲ傷ケテ出血ヲ起シ、甚シキモノハ壁特ニ子宮底(Fundus uteri)ヲ穿通シテ腹膜炎ヲ起シ、又タトヒ傷ケズトモ、屢細菌ヲ移入シテ種々ナル重症ヲ具發スルニ至ル。但シ胎兒ヲ

犯法的墮胎

墮胎ニ關スル
探證

妊娠及ビ分娩

傷クハ、モノハ、比較的少キガ如シ。

以上内外兩種ノ墮胎用ニ供セラレタル物品ハ、多クハ、其家ニ殘存シ、又ハ、挿入部ニ殘片ヲ止メテ、有力ナル證據物件トナル。又以上ノ企圖功ヲ奏シテ、死亡セル胎兒ハ、常ニ直ニ子宮外ニ驅出セラレズ。時ニ或ハ永ク死亡ノ儘子宮内ニ殘留シテ、既ニ再三記載セル浸蝕兒トナルコトアリ。而シテ一般ニ墮胎ハ、經過ハ、偶發性ノ墮胎ヨリモ不良ナルヲ原則トス。

二四

214
157

(丙) 墮胎ノ結果

墮胎ノ結果

墮胎ノ結果ハ危險ニシテ、屢甚シキ衰弱ヲ來シ、又ハ死ニ至ルモノ有ルコト既ニ云ヘルガ如シ。然レドモ遂ニ其罪跡ヲ隱蔽シ得ルガ如キ場合モ亦稀ナラズ。而シテ一般ニ其ノ結果ハ不良ナルハ、私ニ之ヲ處理セント欲シテ、醫療ヲ加ヘズ、又服用スル毒物ノ用量ハ如キモ一定セザルニ職由ス。
出血、化膿、其他副作用ノ各論ハ茲ニ詳説セズ。

法醫學了



第一圖版
縊死者が長時間懸垂セル場合ニ於ケル血液沈降状態
(第百四十八頁等参照)



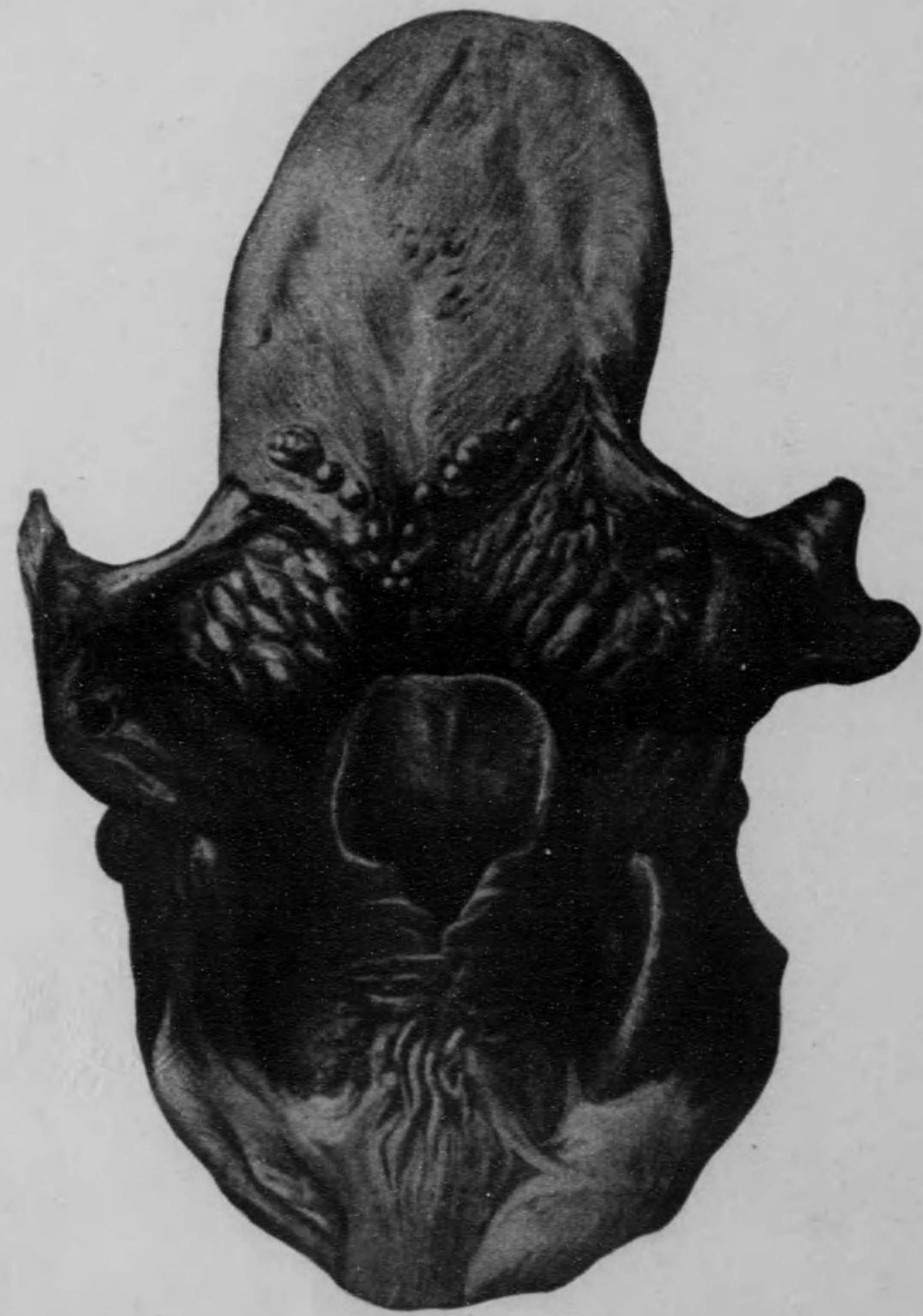
第二圖版

「リゾール」中毒者ノ口腔周圍（第七十五頁等參照）



第三圖版

一酸化炭素中毒死者ノ皮色 (第九十六頁等參照)



第四圖版

青酸加里中毒死者ノ咽喉部粘膜ノ色 (第九十四頁等參照)

索引

A の部

Adler 氏検法 五
 アルカリ性ヘマチン 六
 アルカリ性カルミン溶液 六
 アルカリ 七、八
 アルカロイド 七、八
 亞砒酸 八、九
 惡露 二〇五
 アンモニヤ中毒 二五、二六、二五
 瘡腫者 八六、八九

B の部

Babo 八
 Brücke 氏液 六
 Bertillon 一四
 Bertillonage 一四
 煤煙 三九、四一、六、一七

麥角

爆破銃創 九〇、三三
 微毒 一八、三二
 微毒性小兒肺炎 二七、三六
 晚期分娩 一〇〇
 分鏡 一〇四
 文身 一四
 分裂方向 元
 分光鏡 六〇
 葡萄狀鬼胎 二〇二

ベ

ベンチマン検法 五
 勃起中樞 一七
 膀胱直腸検法 二六
 Casper 一四

C の部

Corin-Stockie 氏検法

致命傷 一八
 恥骨弓 一四
 恥骨角 一四
 腔變縮症 一七
 沈降素 一七
 沈降素検法 六
 沈降素 六
 窒息 三三、三六、三九、二二
 窒息屍血液 九
 中毒 一三、一六

チ

鳥啄創 一七、一七
 直接死因 一四
 直角式照暈装置 一五
 重複子宮 一〇三

D の部

索引

矢創 四
 刺創 二六、三三、三三
 刺切創 三三
 刺創孔 三三
 刺創管 三三
 心臟毒 三三
 心神喪失 一五、一五、一八
 耗弱 一五
 浸蝕兒 一五、一五、一八
 審理能力 一五、一五、一八
 指紋 一五、一五、一八
 法 一五、一五、一八
 色情倒錯 一五、一五、一八
 神經毒 一五、一五、一八
 脂肪變性 一五、一五、一八
 子宮 一五、一五、一八
 外科 一五、一五、一八
 眞性半陰陽 一五、一五、一八
 水銀中毒 一五、一五、一八
 鏡 一五、一五、一八
 簡易證明法 一五、一五、一八

水胞形成 二六、二七
 生活現象 二六、二七
 生殖能力 二六、二七
 性 二六、二七
 性慾的作虐 二六、二七
 被虐 二六、二七
 索物 二六、二七
 精液 二六、二七
 精蟲検査 二六、二七
 精阜 二六、二七
 精神的傷害 二六、二七
 精神病 二六、二七
 精絲 二六、二七
 栓塞子 二六、二七
 成年 二六、二七
 成熟兒 二六、二七
 責任能力 二六、二七
 先天性頭骨缺損 二六、二七
 石炭酸中毒 二六、二七
 青酸中毒 二六、二七

青酸加里中毒 二六、二七
 赤血球検査 二六、二七
 切創 二六、二七
 切線銃傷 二六、二七
 線狀銃傷 二六、二七
 早産 二六、二七
 早期分娩 二六、二七
 月經 二六、二七
 鼠咬創 二六、二七
 素因 二六、二七
 爪甲 二六、二七
 訴訟能力 二六、二七
 相續 二六、二七
 損害賠償 二六、二七
 瀉利鹽 二六、二七
 射精 二六、二七
 射入口 二六、二七
 射出口 二六、二七
 射創管 二六、二七

手淫 一八七、一八七
 習慣性 一八七、一八七
 終末呼吸 一八七、一八七
 酒精中毒 一八七、一八七
 菸酸中毒 一八七、一八七
 出血 一八七、一八七
 ショ
 初産婦 一八七、一八七
 初生兒 一八七、一八七
 生活検査 一八七、一八七
 初乳 一八七、一八七
 傷害 一八七、一八七
 傷害ノ罪 一八七、一八七
 燒瘡 一八七、一八七
 硝酸中毒 一八七、一八七
 硝子粉末 一八七、一八七
 昇汞中毒 一八七、一八七
 食道狭窄 一八七、一八七
 證言能力 一八七、一八七
 處分能力 一八七、一八七
 處女 一八七、一八七
 膜 一八七、一八七

處女膜痕 一八七、一八七
 小兒嗜好 一八七、一八七
 少年裁判所 一八七、一八七
 漿膜下溢血 一八七、一八七
 職業 一八七、一八七

Tの部
 Tardieu 一八七、一八七
 Tardieu 氏斑點 一八七、一八七
 答刑 一八七、一八七
 體質 一八七、一八七
 タンニン検査法 一八七、一八七
 丹毒 一八七、一八七
 胎兒 一八七、一八七
 胎垢 一八七、一八七
 胎盤 一八七、一八七
 胎便 一八七、一八七
 小體 一八七、一八七
 炭化 一八七、一八七
 高山氏試薬 一八七、一八七
 高山正雄 一八七、一八七

「C」ヲ見ヨ。 一八七、一八七
 墮落死 一八七、一八七
 分鏡 一八七、一八七
 定期分娩 一八七、一八七
 凍傷 一八七、一八七
 特異質 一八七、一八七
 湯傷 一八七、一八七

Uの部
 牛裂キノ刑 一八七、一八七

Vの部
 Van-Deen 氏法 一八七、一八七
 Virchow 氏液 一八七、一八七

Wの部
 Weigert 氏染色法 一八七、一八七

る實地家に對しては徒に了解に苦しましむる所多くして、利する所反て尠かるべきか、これ余が學說を省略せる所以なり。譯字の如きは、たゞひ原語の意味を失ふとも、實際に適合して理解し易く且記憶に便なる方が遙に實地家に對しては、有益なるべきを信じて疑はず、これ余が特に意譯を採用せる所以なり。

抑々余の本書編纂を敢てせしは、之を識者に示さんご欲したるに非ず。本邦に於ては、未だ廣く其の本態を知られず、稍々之を知るもの。雖「法醫學は基礎醫學の一分科なり」と思惟するが如き現今の世に、聊かたりとも此の學問の知識を普及して、國家に益せんことは甚急務にして、しかも甘んじてかゝる陳吳の勞を執るもの、余以外には斷じて之れ無きを確信したればなり。豈敢て自ら相當れる

ものなりと云はんや、不肖乏を享けて其職に在り、唯奉公の一端を發露せしに過ぎざるのみ。世の法曹竝に醫家中一人たりとも、此の書によりて法醫學の一斑を了解するものありとせば、則ち余の本書編纂の望足る。茲に數言を註して跋文に充つと云爾。

大正六年四月稿を終りし日

落花繚亂の古都に於て

著

者 識

大正六年五月二十三日印刷
大正六年五月二十三日發行

定價金壹圓四拾錢

著者 高田義一郎

東京市本郷區本富士町二番地

發行者 今井甚太郎

東京市本郷區駒込林町百七十二番地

印刷者 櫻井新三郎

東京市本郷區駒込林町百七十二番地

印刷所 杏林舍

(電話小石川七七九番)



法醫學

發行所

東京市本郷區本富士町二番地
振替貯金口座東京二七九八一番
東京市本郷區龍岡町三十四番地
振替貯金口座東京四一八番

(電話下谷)
五五二番

(電話下谷)
一六七二番

克誠堂書店
吐鳳堂書店



60
382

終

